

2019年度 実務経験のある教員による授業科目

担当者名	授業科目名	単位数	配置学科	授業概要
榎本 恒	榎本 専門ゼミナールⅠ	1	経営総合学科	税理士として21年間事務所経営を営んでいる担当教員が、FPの実践を通じた段階教育の中間段階の実践を進める。グループごとに各ライフイベントを課題として割当て、グループ協議により具体的内容の検討を行い、期末においてグループ発表
榎本 恒	榎本 専門ゼミナールⅡ	1	経営総合学科	税理士として21年間事務所経営を営んでいる担当教員が、FPの実践を通じた段階教育の最終段階の実践を進める。各自の卒業後の将来キャッシュフロー計算書を完成する作業を通じて、自分の将来をしっかりと考えることを目的とする。
榎本 恒	法人税演習	1	経営総合学科	国家資格受験予備校の講師を15年間経験している担当教員が、検定における得点を養成することを目的として講義時間内において講義と演習を反復し、具体的な注意事項を解説する。
岩淵 昭子	コンピュータ会計Ⅰ	2	経営総合学科	今日では、会計事務所に限らず中小企業を含む多くの企業は、会計ソフトを使ってパソコンで経理事務を行っている。中小企業の経理・総務の役員・役職の経験がある担当教員が、実務を踏まえた実践的講義を行う。営利企業だけでなく、非営利企業への会計ソフトの導入や経理指導の経験もあるので、学生の進路にあわせてアドバイスも可能である。本講義は、経理部門に配属されたと想定し、反復練習に重点を置いた実践的な授業を行う。
岩淵 昭子	コンピュータ会計Ⅱ	2	経営総合学科	担当教員は、第一種電気通信事業会社の他、数社の起業をしており、役員または役職を経験している。本講義では、グループごとに仮想会社を設立し、取引を想定して会計データを入力するほかに、在庫管理や販売管理、給与計算などのさまざまな処理の仕方を学び、即戦力としての資質を育む授業を展開している。将来、自分で会社を経営したいと思っている学生は、社長業を疑似体験できる。実社会では、一人で仕事をするのではなく他人との協力が大切なので、グループワークを通じた協働の重要性も学習する。
経営総合学科 合計7単位				
小木曾 宏	社会的養護Ⅰ	2	こども教育学科	児童自立支援施設、児童相談所、児童養護施設長、合わせて26年間、社会的養護実践に従事してきた。国や千葉県の委員及びスーパーバイザーの経験を活かし、保育ソーシャルワーカーとしての人材育成を図っている。じどうそう児童養護施設、乳児院などと家庭養護(里親制度、養子縁組制度など)の違いを理解し、保育士としてこのような制度に暮らす子どもたちの課題、問題点に光を当て、どのような支援施策が進められているかを学ぶ。併せて施設実習に繋げる動機づけとして捉えられるよう授業を展開する。
小木曾 宏	社会的養護内容	1	こども教育学科	児童自立支援施設、児童相談所、児童養護施設長、合わせて26年間、社会的養護実践に従事してきた。国や千葉県の委員及びスーパーバイザーの経験を活かし、事例研究やロールプレイングなど実践的な演習を取り入れている。「社会的養護」科目では、子ども達の暮らす「社会的養護の現状及び課題」を習得した。本授業では、それを基に、具体的には個々の子どもに応じた支援計画の作成、日常生活の支援・自立支援等の方法と技術を理解するとともに、保育者としての支援力を習得する。授業は演習方式で少人数のグループを作り、各事例に関するグ
小木曾 宏	保育実習指導Ⅰ	2	こども教育学科	社会的養護施設の現場経験と大学の「実習センター」相談員(12年)の経験を活かし、施設サイドと養成校サイド、両面の視点を持って、実習施設と連携を図りながら実習教育を行っている。本科目では、実習の事前学習、本実習を経て実際の保育実習後の振り返りを行い、実習により学んだ内容の整理を行う。さらに実習指導者から受けた助言や自己覚知できた内容をまとめて発表する。それと同時に利用者として、感じられたこと、考えたことを文章化して、クラス全体でディスカッションする。そして、クラス内で実習報告会を実施する。最後に、自己の課題を明確にして、保育実習Ⅱ及びⅢに向けた新たな計画に結びつける。
小木曾 宏	保育実習ⅡB(施設)	2	こども教育学科	千葉県の児童養護施設長、児童相談所職員等、26年間の経験から千葉県内の児童福祉施設との繋がりが強固にある。それにより深い信頼関係を築いている。したがって、実習内容も相互に新たな実践を交えながら行っている。本科目では、実際の児童福祉施設における保育・養護の実際の場面で、児童の日常生活・介助・援助をはじめ、生活指導・遊び・学習指導、保健指導等、日常生活の維持と自身の発達に直接かかわることを体験的に学ぶ。
こども教育学科 合計7単位				